（本號十頁）　（明治廿五年一月三日第廿五號　郵便信書認可）　明治二十七年十一月六日　第四千百十九號　（定價金貳錢五厘）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

明治廿七年十一月六日　火曜日
亀厘甲午十月九日（壬、子）

日出入午前六時九分
月出入午後一時四十分
日入午後四時一分
月出入午後十一時四十一分
續朔午前十時十四分
午後二時十三分

（西暦一千八百九十四年）
年始より年末まで　三百十日　五十五日

時事新報

朝鮮の警察組織

朝鮮の改革に就て急にす可きもの一にして足らざるも目下彼國の有樣を以てすれば差當り警察の仕組を設けて之を施行するゝ最も肝要なる可し彼の東學黨と稱する內地の一揆騷動は一時鎭靜との報知なりしが昨今の通信に據れば又々諸道に蜂起し地方の官民を脅迫して財物を掠め又は我兵站部を襲ひ軍用電信を切斷する等、亂暴一方ならざるが如し或は其目的は日本人を追拂ふに在りなど聲言するよしなれども實は所在浮浪の暴民等が中央政令の行屆かずして地方官の腐敗より傳へたる病に乘じ民心一般に離反するの際その機に乘じて東學の名を假りて亂暴を働くものに外ならず決して驚くに足らずと雖も彼の政府の無力にては之を鎭制するに足らず目下幸に我兵隊の屯在するものあるを以て討平の爲めに夫れ〳〵派遣したるよしなれば不日鎭靜に歸するゝみとならんなれども本來日本兵の屯在は自から其必要あるが爲めにして每々他國の爲めに一揆騷動を靜むるゝみとも能はざれば今後は彼をして自から其任に當らしめざるを得ず然るに彼國の兵は實際に用を爲さず過般平壤の戰に日本兵と同行しながら途中より逃去りたるものの多きを見ても知る可し故に彼の兵制を改正して實地に用ゆ可きものと爲さしむるは自から多少の年月を要するゝみとにして左ればとて今日の儘に捨置くときは亂民の蜂起は止む時なく其亂暴に一任するときは政令はます〳〵行はれずして租稅を徵收するゝみとさへも叶はず政府の成立も覺束なき次第なれば是非とも至急の處分なきを得ず即ち我輩が差當り警察組織の必要を認むる所以なり扨その方法を如何と云ふに彼の國人の用ゆるに足らざるは兵隊の例に於ても明白なるが故に苟も警察の仕組をして實際有力のものならしめんとするには當分の間は日本人を使用して其任を盡さしむるゝみと必要なる可し即ち少なくも三四千の壯丁を我國より雇ひ入れて巡査と爲し之を國中の各所に配置し中央には警視廳の如きものを置て監督を嚴重にし首尾相應じて以て治安を維持するの任務を全ふせしむ可し其組織權限に就ては自から國の事情もあるが故に彼折衷して宜しきを取るゝみと勿論なれども我輩の所見を以てすれば一種の變則法として司法彈劾の職權を行はしむるゝみと必要なる可しと信ずるなり彼の亂民の如きは素より亂民に相違なけれども其本を尋ねれば各地の地方官を始めとして士族の一流が私利私慾を逞ふして飽くみとを知らず人民は殆んど塗炭に陷りて訴るに道なく遂に破裂したるゝみとにして罪は亂民にあらずして却て官吏に在る程の次第なれば今警察に司法彈劾の權を與へて人民の非法に遭ふものは之を警察に訴ふるゝみとを許し其事情の輕きものは警察の管轄者に於て之を處分し關係の大なるものは中央政府に具申して彈劾するゝみとゝなさば單に治安の維持に止まらずして地方人民の疾苦を救ひ官吏士族等の私を制するの效能あるべし畢竟彼の地方の擊政は中央政府の腐敗より傳へたる病にして其源を淸むるゝみと大切なれども今日は政府の改革さへも未だ着手せず假令ひ着手するもいよ〳〵地方政に及ぼすは尙ほ容易ならざるに其地方の有樣を見れば官吏の貪慾、亂民の跋扈、良民の難澁見るに堪へず亂民の處置として此の變則法の寧ろ時宜に適するゝみとを疑はざるものなり

雜報

敵の精銳を擧げて防禦し居ると聞えたる鳳凰城も難なく我軍の占領する所となれり其筋に達したる急報左の如し

○鳳凰城の占領

三日午後二時二十分九連城發山縣大將より左の報あり十月三十一日立見枝隊は鳳凰城に入る敵の一部は奉天府一部は海城一部は太瓮山方向に逃走せり內重なる各統領は奉天府方向に退却地方人民の意向は大に淸兵の暴掠を忌み我軍を敬愛す

○九連城附近の戰利品

九連城附近の戰に於て敵の死傷（我特派員より來りし電報には死者とあり）我軍の取集めたるもの三百餘名今日までに收集したる分捕兵器概ね左の如し

砲	五十五
小銃	千五百
彈	二萬
小銃彈	二百五十萬
其他雜品	數多

（右二項は一昨朝第一號外として京濱の讀者に急報せしものなり）

○海陸一齊に大攻擊

廣嶋十一月四日午前十一時二十分　特派員特發

第二軍は去二十九日迄に花園口に於て馬匹、糧食等一切の陸揚を終り先鋒隊、後隊とも皆旅順口方面に向て進軍し三日より金州の攻擊を始め而して之と同時に我海軍は殆んど全力を盡くして大連灣各要港を砲擊しつゝありとの報ありたり

左れば昨三日には豫定の如く金州及び大連灣を我手中に掌握し此所にて目出度天長節を祝したるならん其快報の來る近きにあるべし

又二日上海發電報に支那軍艦十五六艘威海衛を發し たり其目的は日本海軍と鏖戰する爲めか若くは陸軍兵護送の爲めなるべしとあり若し之を事實とすれば大連灣の急を救はんとて出發せしものにわらざる無し

○水雷の分捕

廣嶋十一月四日午後一時二分　特派員特發

我海軍大連灣砲擊の際許多の水雷を分捕せりとの報あり

○鳳凰城の敗兵

廣嶋十一月四日午前十一時五十四分　特派員特發

鳳凰城敗兵の大部分は虞天嶺に遁走せり虞天嶺は奉天府に至る途中にあり

（右三項は一昨夕第二號外として全國の讀者に配布したるものなれども或は配達洩れわらんゝを恐れ此に再錄するものなり）

○廣嶋特報（十一月一日）（特派員報）

○日米條約改正の進行　既に電報せし如く目下日米間條約改正の談判は故障なく進行しつゝある趣にて全權委員の調印を了るは當さに遠きにわらざる可しとの事なり尤も其批準を濟ます前に米國に於ては元老院の決議を經、又日本に於ては樞密院の諮詢を經ざるべからざるを以て其發表を見るまでには尙ほ數旬の日子を要すべしと云へども多分今年中には良好の結果を得て發表するに至るべしと云ふ

○英國政府の仲裁說　英國外務大臣が某處に於て爲したる演說に英國は日本の要求に超過したる條件を附して日淸の間に仲裁を試みんと欲し其同意を二三の强國に求めたれども二三の强國は之を謝絕したりとの事を公言せりとは嘗て倫敦電報の傳へたる所なるが其英國政府は支那政府の依賴ありしに因るか將た英國政府自からの發意に基づくか其邊未だ知るを得ざれども恐らく支那政府より直接に依賴せしにはあらざる可しといふ兎に角日本政府に向ては今日まで英國より公然仲裁を申込みたるゝみとなく隨て右電文中に日本の要求とは果して如何なる要求なるか又其要求に超過したる條件とは如何なる條件なるか未だ仲裁の談合だも受けしゝみとなき日本政府筋より之を知るよしなけれども察するとゝろ今度の日淸事件たる淸國が朝鮮の獨立を侵害せんとするの行爲あるを以て日本は之を防禦し其獨立を鞏固ならしめんとするより起りたるものにして日本當初の目的は唯朝鮮の獨立にあるが故に英政府は朝鮮の獨立即ち是れ日本の要求なりと認定し其要求に超過したる一二條件を附して仲裁を試みんとせしにはわらざるかといふものあり受取難き說ながら若し果して然りとせば其條件の度合亦量り知るべきのみ

○天津の米穀欠乏　我陸海軍にして若しも來年の夏頃まで渤海灣口を封鎭せば北淸全部の人民は殆んど餓死するに至るべく北京天津等は目下既に困難の境遇にありとは前報にも記載せし所なるが果せるかな上海來電は天津市中米穀の欠乏を訴へて大に困難の悲境に陷りたりとの報を蓄せり天津は先年英佛同盟軍の時にも米粟供給の道を絕たれて非常に困しみたる處なるが故に今度も眞先きに其苦痛を感ずるに至りしものならん天津既に此苦境に在る以上は北京も亦必らず安然たるゝみと能はざる可し北門の咽喉未だ全く封鎭されざるの今日かゝる有樣なれば況して將來の大悲劇は眼前に於て之を觀るが如し皇軍の目的は無辜の淸民を困しむるにわらざれども亦已むを得ざる次第と云ふ可し

○戰捷會の飾付　陸海軍戰捷大祝宴會は豫報の通り明二日の午後を以ていよ〳〵當地西練兵場內假議事堂に於て催す事となれり左れば數日前より諸掛の委員を設云け委員は夫々擔任部門の準備を取急ぎたれ共何を云ふにも火急の事とて飾付等は夕刻迄には完成し難き處ありしも今夜は遲くなりても是非仕上げんとて頻に急ぎ居る樣樣なりし今會場及び餘興の飾付に關し傳聞の儘を記すれば會場と稱すべきは貴族院の議場にして議場の爲めに設けたりし座中の階段は政府委員席と同一の高さに新規に床板を張り詰めたる爲め全く隱れて其跡を止めず今は廣き本の板の間と變化し木地の見ゆる處は柱にても葉にても纏て旅若くは綠葉にて包み各國の國旗は美事に飾付けられ電氣燈は貴族院の議場にも衆議院の議場にも共に一堂內に四十箇宛を點ずる由なれば場內の夜は斯くの如くなれども衆議院の議場は

○日米條約改正の進行　既に電報せし如く目下日米間條約改正の談判は故障なく進行しつゝある趣にて全權委員の調印を了るは當さに遠きにわらざる可しとの事なり尤も其批準を濟ます前に米國に於ては元老院の決議を經、又日本に於ては樞密院の諮詢を經ざるべからざるを以て其發表を見るまでには尙ほ數旬の日子を要すべしと云へども多分今年中には良好の結果を得て發表するに至るべしと云ふ

○英國政府の仲裁說　英國外務大臣が某處に於て爲したる演說に英國は日本の要求に超過したる條件を附して日淸の間に仲裁を試みんと欲し其同意を二三の强國に求めたれども二三の强國は之を謝絕したりとの事を公言せりとは嘗て倫敦電報の傳へたる所なるが其英國政府は支那政府の依賴ありしに因るか將た英國政府自からの發意に基づくか其邊未だ知るを得ざれども恐らく支那政府より直接に依賴せしにはあらざる可しといふ兎に角日本政府に向ては今日まで英國より公然仲裁を申込みたるゝみとなく隨て右電文中に日本の要求とは果して如何なる要求なるか又其要求に超過したる條件とは如何なる條件なるか未だ仲裁の談合だも受けしゝみとなき日本政府筋より之を知るよしなけれども察するとゝろ今度の日淸事件たる淸國が朝鮮の獨立を侵害せんとするの行爲あるを以て日本は之を防禦し其獨立を鞏固ならしめんとするより起りたるものにして日本當初の目的は唯朝鮮の獨立にあるが故に英政府は朝鮮の獨立即ち是れ日本の要求なりと認定し其要求に超過したる一二條件を附して仲裁を試みんとせしにはわらざるかといふものあり受取難き說ながら若し果して然りとせば其條件の度合亦量り知るべきのみ

○天津の米穀欠乏　我陸海軍にして若しも來年の夏頃まで渤海灣口を封鎭せば北淸全部の人民は殆んど餓死するに至るべく北京天津等は目下既に困難の境遇にありとは前報にも記載せし所なるが果せるかな上海來電は天津市中米穀の欠乏を訴へて大に困難の悲境に陷りたりとの報を蓄せり天津は先年英佛同盟軍の時にも米粟供給の道を絕たれて非常に困しみたる處なるが故に今度も眞先きに其苦痛を感ずるに至りしものならん天津既に此苦境に在る以上は北京も亦必らず安然たるゝみと能はざる可し北門の咽喉未だ全く封鎭されざるの今日かゝる有樣なれば況して將來の大悲劇は眼前に於て之を觀るが如し皇軍の目的は無辜の淸民を困しむるにわらざれども亦已むを得ざる次第と云ふ可し

○戰捷會の飾付　陸海軍戰捷大祝宴會は豫報の通り明二日の午後を以ていよ〳〵當地西練兵場內假議事堂に於て催す事となれり左れば數日前より諸掛の委員を設云け委員は夫々擔任部門の準備を取急ぎたれ共何を云ふにも火急の事とて飾付等は夕刻迄には完成し難き處ありしも今夜は遲くなりても是非仕上げんとて頻に急ぎ居る樣樣なりし今會場及び餘興の飾付に關し傳聞の儘を記すれば會場と稱すべきは貴族院の議場にして議場の爲めに設けたりし座中の階段は政府委員席と同一の高さに新規に床板を張り詰めたる爲め全く隱れて其跡を止めず今は廣き本の板の間と變化し木地の見ゆる處は柱にても葉にても纏て旅若くは綠葉にて包み各國の國旗は美事に飾付けられ電氣燈は貴族院の議場にも衆議院の議場にも共に一堂內に四十箇宛を點ずる由なれば場內の夜は斯くの如くなれども衆議院の議場は

の机を敢て放ちて陛下の御覽に供し少し手を入れて下院の議長席に遊ばされ文武の榮列して參觀の榮も綠葉若くは旅斯くの如き仕掛場外の飾付を貴衆兩院表門の入りて內側を入りて太き麻繩にて縛りたる繩は殆んど表札を持たせた菊桐の御紋章を蓋（銃彈を容れて手に出來たり是なり又右大提灯に於て敵艦の中の人形の右手より提灯の下、左の人形の左手より表札を持たせた菊桐の御紋章を蓋（銃彈を容れて手に出來たり是なり又右大提灯に於て敵艦の中し箇所（砲彈に れり）等を示さ門より玄關前通門の傍なる家の數箇の活人形云ふ前に白布を机に向ふ机上にせる紙片を置き を持てり而して力なげに佇立し なり左れば大將ひれば今にも泣一疋の蜂止まり榜示して「左幕」に染みて後に倒る樣なり此の太り是れ即ち榜示榜して清飛一人旗を持つて大尼る金箱を持ち來榜示せし處には人形あり又清飛む樣を形造れりせしものならん清兵二人の橫臥せる服は分

なれば場內の夜は斯くの如くなれども衆議院の議場は

の机を敢て放ちて陛下の御覽に供し少し手を入れて下院の議長席に遊ばされ文武の榮列して參觀の榮も綠葉若くは旅斯くの如き仕掛場外の飾付を貴衆兩院表門の入りて內側を入りて太き麻繩にて縛りたる繩は殆んど表札を持たせた菊桐の御紋章を蓋（銃彈を容れて手に出來たり是なり又右大提灯に於て敵艦の中の人形の右手より提灯の下、左の人形の左手より表札を持たせた菊桐の御紋章を蓋（銃彈を容れて手に出來たり是なり又右大提灯に於て敵艦の中し箇所（砲彈に れり）等を示さ門より玄關前通門の傍なる家の數箇の活人形云ふ前に白布を机に向ふ机上にせる紙片を置き を持てり而して力なげに佇立し なり左れば大將ひれば今にも泣一疋の蜂止まり榜示して「左幕」に染みて後に倒る樣なり此の太り是れ即ち榜示榜して清飛一人旗を持つて大尼る金箱を持ち來榜示せし處には人形あり又清飛む樣を形造れりせしものならん清兵二人の橫臥せる服は分